

各位

上場会社名	株式会社アバールデータ
代表者	代表取締役社長 嶋村 清
(コード番号)	6918)
問合せ先責任者	管理本部部長 大関 拓夫
(TEL)	042-732-1000)

## 業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年5月14日に公表した業績予想及び配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成23年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,070	160	200	165	22.27
今回発表予想(B)	3,440	265	300	210	28.35
増減額(B-A)	370	105	100	45	
増減率(%)	12.1	65.6	50.0	27.3	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	1,715	△312	△232	△91	△11.93

平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,400	380	450	350	47.24
今回発表予想(B)	7,100	585	650	440	59.39
増減額(B-A)	700	205	200	90	
増減率(%)	10.9	53.9	44.4	25.7	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	4,470	△183	△40	45	6.07

平成23年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,150	150	190	155	20.53
今回発表予想(B)	2,430	235	280	205	27.67
増減額(B-A)	280	85	90	50	
増減率(%)	13.0	56.7	47.4	32.3	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	939	△283	△202	△73	△9.62

平成23年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,400	330	400	320	42.39
今回発表予想(B)	4,900	485	560	410	55.34
増減額(B-A)	500	155	160	90	
増減率(%)	11.4	47.0	40.0	28.1	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	2,667	△205	△88	31	4.11

(注)業績予想については、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

修正の理由

(1)連結

半導体製造装置業界においては、昨年度末より大手半導体メーカーの設備投資が再開され、半導体関連市況は昨年に比べ大幅に回復をしております。これにより前期第3四半期より当社グループの主要品目であります半導体製造装置関連受託製品において、受注の改善傾向が見られ、今期においては当初予想していた以上に受注が増大しております。また今期第2四半期以降は産業機器及び各種検査機器全般における受注の回復により自社製品も堅調に推移しており、前回の売

上高予想数値を第2四半期及び通期とも上回る見込みであります。また営業利益、経常利益及び当期利益につきましても、半導体製造装置関連受託製品売上高の増加による生産稼働率の向上及び付加価値の高い自社製品売上高の増加により売上総利益も改善されるため前回の予想数値を上回る見込みとなりました。

(2)個別

連結における修正理由同様、個別においても前回の業績予想を修正いたします。

## ● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成22年5月14日発表)	—	7.00	—	8.00	15.00
今回修正予想	—	8.00	—	10.00	18.00
当期実績	—	—	—		
前期(平成22年3月期)実績	—	0.00	—	8.00	8.00

### 修正の理由

当社は株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要施策の一つと考え、各期の連結業績に応じた利益の配分を基本方針としております。そして将来の企業価値向上に向けた事業投資に伴う中長期的な資金需要や財務状況の見通しなどを総合的に勘案し、連結配当性向を30%に高めるべく配当性向の向上を目指して株主の皆様への成果配分を行ってまいりました。

このような方針のもと、第2四半期末及び期末の配当予想につきましては、既述の業績予想の修正に伴い上記のとおり修正いたします。

以 上